



TITLE:

雑報

AUTHOR(S):

CITATION:

雑報. 地球 1928, 9(6): 468-477

ISSUE DATE:

1928-06-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183444>

RIGHT:

雜報

が巧みに遺物の分布と其環境の人文現象を説述してゐるのは、うれしいことである。各篇いづれも参考文献を詳記してゐる苦心も買はねばならぬ。博物學者としての木内石亭の著述、根志の中に出た石器を、考古學上から見なほしてゐるもの、この縣の過去に於て誇るべき先輩業績の顯彰として體を成したものと喜んでおきたい。(F)

○横手町の地理

横手女子小學校柴田良一氏著

秋田縣平鹿郡の中心、人口一萬六千七百の横手町の地理と人文との交渉を極めて平易に書いた讀本で小學校の生徒に讀ますものである。町のでき方、川と横手、雪と横手、風と横手町名の起原といった各章何れも面白く述べてあるが、しかしこの町の歴史には全くふれてない。名が地理だからであらう。但し横手木綿が凡三百年前からの産出で文化文政から明治二十五年頃まで盛んに製織されて、年額織木綿三十六反染木綿四萬反を産したといふ處に少したけ歴史的發達の理由がのべてある。大體は自然地理に則しての人文地理の解説である。挿圖も巧妙に入つてゐる。寫眞も面白く集めてある、五一頁の手頃な本である、非賣品であるが、生徒には一冊づゝ持たすのであらう。横手の名の起りが横堤^{ヨコヅエ}の略されたもので川と縁がある。川を境として大きく内町と外町の二つにわけられ内町に猶茅屋根の家がのこつてゐる。町勢は現在外町の方に移つて、交通線に伴ひヒトデのやうに延びゆくことを教はつたことを感謝する。(藤田)

○愛知地理學會

五月六日午後一時より名古屋、縣立第一高等女學校に於て開會、來集するもの百餘名に達し盛況を極む。講演左の如し

一、臺灣の印象

村山清吉氏

二、日本民家の形式と其分布について

藤田元春氏

村山氏は嘗て臺灣に奉職せられしことありて實地の見聞を説明せられ、藤田氏は特に本學岡より出張來名、日本民家の三大別について、即山地の居住と平野の村落及海岸漁村の各特色と其共通點につき其起原より説明せられ聴衆に多大の興味を喚起せらる、午後四時閉會後名古屋城下町の特色たる、町内の屋根の庇の上の神祠、町裏の閑所なるもの、特色古い軒の槌覆、北國のカンギに似た宇太知さては伊藤治郎右衛門氏の三百年來の土藏及本宅等を順次一覽見學して薄暮散會(會員橋本報)

○福岡縣地理學會近況

大正十五年八月創立以來會員二百五十名に達し、會を重ねる事十回に及ぶ、最近の會合左の如し(國員金尾報)

第九回學會(昭和三年一月廿九日糸島中學校に於て)

沖繩と奄美大島との旅行談

福岡笠子

永

田

奈良女高師地理學講習會の報告 福師專 鬼 木

糸島地方人文地理學的考察 糸島北崎 山 本

地理教育に對する私見とライン地溝帶 糸島中 財前

最近地理教育上の諸問題 福 師 金 尾

第十四回學會、(五月六日粕屋郡香椎小學校に於て)

西北粕屋の地形と人文 粕屋仲原 阿 部

粕屋炭田地方の自然と人文 同志 免 安 川

粕屋郡の地理的研究 同 青 柳 阿 部

若松港に於ける石炭 若 松 中 松 島

地理學習指導の要訣

(附) 香椎地方の地形と人文(實地を加へ)

其他圖書の發行左の如し

福岡縣教授用白地圖 縦一、七横一、五 尺 尺 定價四錢

日本全體教授用白地圖 縦二、五横三、五 尺 尺 定價一五錢

世界全體教授用白地圖 同上

地理研究 第一輯(一八九頁、市内金文堂發賣)一圓二十錢

郷土地圖發行の後授大阪佐藤氏の各種分布圖入福岡縣地形

明細地圖兒童生徒用 十五錢

○地理學夏期講習會

京都府教育會主催の夏期學校は八月一日から二十日まで、炎天盛暑の候を卜して、所謂熱時熱殺の元氣で連日六時間にわたる大講習會を開くに就て、本年は地球學團の先生方に、其の講師を依頼してきたので、左

記の題目の下に愈同日から開催されることになった。詳細は京都市川端丸太町京都府教育會に承合されたい。

政治地理に就て

科外講演

日本地形地質各論

地文學一般

地質學概論

經濟地理總說

地圖學及地形學

歐洲地理(各國別)

この外に上治助教の鑛物學に關した講義が大學夏期講習會の方で八月一日から六日間開催せらるゝ豫定である。従つて本學團の夏期講習會は本年度は開催しない事にした。

○河内國孔舍衛の貝塚

嘗て孔舍衛の貝塚に就いて、『地球』上に發表され又昨年同所の發掘をせられたる事に關聯して單に貝塚としてのみでなく更に所謂彌生式土器或は縄紋土器等の分布範圍に付管見を披展して見ます。

先づ起點を孔舍衛に置くとして生駒山脈に沿ひ南下しますと神並、額田、豐浦、牧岡南其他の諸村を縦貫して北高安村に出で更に中高安南高安兩村を經過して柏原より縣道を道明寺に到る間には、何處の道路畑地の別なく前記土器破片の散在するのが看られ、尙玉手山遊園地に赴く途中にも同様に多

數採集し得るのを以て見れば土中には必ず夥しき埋藏物の在るべき事は明らかであります。此の事は古くより既に氣付かれたるも未だ發掘せられざる儘なるか或は未知の箇所かでありました。

特に面白い事實は大軌電車駕尾停留場の案内札には孔舍衛の地は三千年以前の遺跡とありますが北高安村には四千年以前の遺跡地が在り更に精査すれば斯かる場所は他にも續々現はれるものと存じます。斯く舊跡の存在より見ましても彼此共通の土器の散見することが首肯せらるゝと思ひます。

最一つ面白い事は前述の北高安村と中高安村との中間の畑中より布目瓦を採集した事であります。尤も布目瓦と申してもほんの破片に過ぎませぬから全體としては如何なる形状の者が分かりませぬが然し附近の畔に墓碑と思はるゝもの横はり明かに往昔寺院の存在せし事を認めらるゝので他にも意外の新發見もあるかと申添えたいのであります(橋本平次郎報)

○日本蜜柑の輸出と北滿

北滿では日本蜜柑が年末の贈答品として、我國歳暮の鹽蛙のやうに用ひられるので、需要は年々増加して本年度は九十貨車價價格二十八萬圓の輸入があつた。齊々哈爾に輸入さるゝこの多量の蜜柑は、こゝから更に嫩江、克山、拜泉、訥河等に卸される、紀州物第一温州廣島、熊本、河内、長崎物之につぐ。元來當地方に來る蜜柑は途中ですつかり石の様に固く凍結するから、箱さへ丈夫

であれば品損を生ずることが絶無といつてよい。熊本品は斤量一梱につき紀州物よりも約十二三斤重い、品も上等で評判がよい。廣島物は粒揃はず賣行がよくなかつた。支那人は一般に光澤がよく中型薄皮で味は甘味を好む、酸味の強いのは喜ばれぬ。これは別に支那に限つたことではないが、蜜柑産地の人々も常に限を四方にくばる必要があらう。

○日本と土耳其との貿易

日土兩國間の貿易が進展してきたのはローザンヌ條約成立(一九二三年)以後のこと、戦前には絹布、陶器其他の雜貨が少量入り込むに過ぎなかつたが一九二〇年聯合軍が君府占領と共に經濟界が活氣を呈した勢に乗じ本邦品が侵入した、後に條約成立と共に本邦粗布大量に輸入せられ茲に日土貿易が面目を一新したのである。

大正元年の本邦輸入貿易は十六萬圓内外であつたので一九二五年には約四百萬圓に達し、一九二六年大藏省發表では四百二十三萬圓となり、大に増加の勢をしめす外に、ヨーロッパ並に埃及より其國製品として輸入さるゝものが相當分量に達する又土國から我國への輸入は約四十八萬圓と稱せらるゝ。

本邦からの輸入品は食糧品、衣類、皮革、陶磁器、ガラス木製品、プラスチック、金屬製品、紙類、藥品、綿製、機具、麻繩絹製品、其他で合計六、〇一七、六〇六土磅であるが綿製品主位をなして、五、六八〇、七一九土磅に達する。就中シーチングが七割、縮緬、生金巾、天竺布、綾木綿、タキシユレ

ツド、二十番手安物細糸、メリヤス、タオル等で土耳其人の生活必需品に屬する。

本邦品の輸入が満足すべき成績を上げた原因は、第一は輸入品が奢侈品から實用品になつたこと、第二は地方經濟の改善されたこと、第三は本邦商人の市場開拓、第四は當地方の商權を振つてゐる猶太人やレバノン人が商品を求むるに國家的偏見がなく我商品に對してバイロツトの役目をやつてくれたこと、第五消費者が日本製品に興味を持つやうになつたこと第六に直接輸入の道を開いたこと、第七に近接諸國が高税を課せらるゝので、本邦品として賣込むやうになつたこと等である。大谷光瑞氏はトルコで日本絹織物會社を創始せんと計畫するやうになつた今日、トルコは最早や遼遠の國ではなくなつたのである。

○長春の日本醬油

長春での醬油の消費は内地物一千五百石、滿洲物一千三百石、朝鮮物五百石、日本人製地物一千石支那人製地物二千石、合計二萬四千三百石、この内一千三百石は本邦人の消費で其九割四分は支那人の消費である、内地產の上等物は日本人の消費で、遼陽の岡田醬油、大連の池田醬油、朝鮮の龜甲龍等はすべて上物であるが、其以下の下等物は支那人の需要である。

長春には内地人が滿洲醬油合資會社を建て、年額約一千石をつくる、支那人が六個の工場を建て、凡二萬石内外をつく

る。日本側が劣勢である。けれども、其製品は日本製の方風味芳香よく火入が充分であるから上流の嗜好に適し支那人需要が増加してきた。日本品は大豆小麥多く、食鹽が少い、支那品は大豆、小麥が少量で食鹽が多い、故に其品質は日本品の敵でない。價格低廉な三等品が支那人の一般向であつて將來有望の工業である。

○本邦産鮭罐詰と英國

英國への鮭の罐詰は左の如く輸入される。

露西亞	一九一三年	一九二三年
日本	二七、一四二箱	二八〇、八一
米國	二八、九二五	一一、〇三〇
カナダ	二六五、八一七	二三二、四九九
其他	二七五、三六二	一〇七、五四四
	三、三一四	四、九二七

右は數量ハンドレットウエイトでの計數であるが價格は一九二六年度露國から百九十五萬磅日本から五萬三千磅、米國九十四萬磅、カナダ六十六萬磅といつた工合で、日本ののが最も少い。しかし右の統計は仕出地が露國であるためと露國輸入の中に表出されてゐるが、露國の主要産地は大部分は沿海州で邦人當業者の手によつて製造され輸出されてゐるのであるから、右統計表で我國の品が米加兩國に比して優勢にあることを證しうるのであるは心強いことである。猶又其の鮭の種類が明でないが Siberian Red Salmon と稱せらるゝものか

八割乃至九割に上る筈で、シルバーやピンクは少い。米國や加奈陀の鮭は英國から大陸へ再輸出されるが、日本品はレツドだから英國で消費される。

英國では中流以下殊に労働者階級が之を需要しレツドサーモンの如く眞赤で肉締りよく油の多いのが最も好まれ、ピンクやシルバーは風味は劣らぬとしても、見てくれが悪いので多少値高でもレツドが向く、しかもそのレツドが英國労働者の中心たるランカシャー工業地帯、ウェールズ炭坑に仕向けられて好評であるのである。

注意すべきは、これらのレツドは主として英領コロンビア品、カナダ又はアラスカ品とのみ思ひ込んで食はれてゐること、恐らく消費者の全部は本邦から輸入されてゐることを全く知らぬことである。

蓋し本邦品は大部分が商標なしに當國に賣込まれ、輸入後各取扱商に於て、各自勝手な商標を付けて何等本邦品なることを示してゐないからである。商略上或はこの方が得策であるとするれば致方がないけれども、將來の販路開拓上一考すべき問題であらうと思はれる次に本邦品の輸入をやつてゐるのは Lever Brothers Ltd が コジツロール してゐる、ニワカッスルの ウェストン、リバープールの グリーン 商社、マリング、スタンリー 商社の三商社が所謂 Combined System で一手にやつてゐる、この三商社の手を經ない以上、一罐と雖も入らぬので、右三社は本邦取引業者との取扱値段より、一圓につき十志高で卸してゐるのであるから、この三社の利

益の壟斷は素張らしいものである。他國のことだから別に氣にかけるわけではないが、英國の商人の資本家氣質を見て幾分相識める氣分にもなると思ふ。

勿論かうした取引は賣込も便利で取引も安全で市價の調節をはかるにも都合がよいが、これもいつ迄もこうした十志高の卸と同時に小賣までも利益せしむるといふことは考へねばなるまい、しかし自由取引にしたならば目下の取引よりも多少の危険と不安が伴ひ、不便にもあるけれども、競争のため小賣値下の低下となり、延ては消費者の購買力を助長し賣込數量を増大する所以ともなるであらうから當業者の一考を要すると稱される。又現に英國の商人でさうしたフリーマーケットを希望してゐるものも現はれてゐるといふことである。

○ナウル島の近況

ナウル島は一名ブレザント島とも稱し赤道の南二十六哩、東經百六十六度二あり、周圍十二哩の楕圓形小島にして珊瑚礁其周圍を繞る、面積五千四百噐其五分の四は燐礦なるを以て有名なり、一八八八年獨逸の占領する所となりしが一九一四年大戰勃發前迄は獨領ニューギニー保護領の一部分を構成して居たが、同年九月濠洲軍艦メルホルン號の同島に至りし際投降、十一月ニューギニー遠征軍に占領せられ、戦後英本國、濠洲聯邦、新西蘭自治三者共同委任統治の下に置かれてゐる。故にこの島は「共同委任統治地」といふ特例の國である。この統治國の三者は協議の上、任期

五年の行政官を任命し、目下は濠洲聯邦の任命せる行政官が治めてゐる、いづれ廻り持にするのであらう。

人口約二千二百人、内千二百人はミクロネシアンで、ナウル土人。八百人は契約移民である支那人、歐洲人は百餘名に過ぎず、其他二十名ばかりの太平洋諸島の土人がある。

燐鐵 は最初獨逸のヤルト會社の手にあつたが一九〇五年、獨逸政府の許可を得て、權利を英國の太平洋燐鐵會社に譲渡し翌年より採掘事業を開始してゐる。同社は同島の外同島の東百六十五哩の地點にある英國直轄領ギルバート及エリス島の一部たる太平洋島に於ける燐鐵採掘權を有する、ナウル島及オーシャン島の燐鐵藏量は少くとも一億噸と見積られるその中で四百萬噸は既に採掘輸出された、一九一九年になつてこの會社はこの兩島の燐鐵採掘權を三百五十萬磅にて英國、濠洲、新西蘭三州に賣渡したり、三政府が右購入費を分擔したる割合は夫々四十二%、四十二%、及十六%にして同年七月の三政府協定に依り、三政府より各一名宛委員を出して英國燐鐵委員會を組織し採掘事業を行ふこととなり、其採掘高の割當もこの比例に従ふ。尤もこの割當高は内地消費の爲所要の分に限る、もし剩餘あれば三國以外の國へも輸出することを得といふ。燐鐵採取に従事せるは極少數の歐洲人及太平洋諸島人を除きては全部支那人なり、この支那人は最長三ヶ年の年期にて契約移民として香港にて募集せらる、ナウル島の輸出物は燐鐵の外少量のコブラあるのみ、最近五ヶ年

の間に於ける右二品の輸出高を掲ぐ。

年 度	燐 鐵	コブラ	合計金額
一九二二年	一八二、一七〇噸	九三噸	二七五、一一五磅
一九二三年	二一二、三〇〇	一二一	三二〇、八七〇
一九二四年	二八〇、九九〇	三八三	四二九、三四五
一九二五年	二二四、二六〇	一七〇	三三九、七九〇
一九二六年	二七四、九三五	一一七	四一二、四〇二

○英國の主要産業變遷す

英國經濟界は次第に過去の打撃より恢復しつゝありとは大銀行家財界有力者等の一一致せる觀察なるが、活氣を呈せるは所謂第二次的産業で、炭坑業、鐵鋼業、紡績業等の基本工業の恢復は樂觀よりも寧ろ悲觀が多い。この産業推移の結果、勞働力が次第に南部地方に移り、同地方に勃興せる新種工業につくもの最多く、從來英國の主要産業であつた北部の重工業及紡績業の將來は悲觀されだしてきた。しかして其新工業とは何か、曰く自動車製造業、人造絹糸工業、電氣器械製造業、化學的製品工業、運搬業等でこれらが將來の主要産業になる傾がある。もし變化したならば輸出品の體系が動いて、恐らく輸出貿易の衰頹若くは弱化作となつて現はれるらしい。又産業中心の推移は勞働力の各産業界に於ける分布狀態を一變し、英國内の政治上社會上に及ぼす影響も著しかるべく想像される。蓋し基本工業不振の原因たる、金本位制度復活に伴ふ爲替上の不利、勞銀高、經營の不備、能率低下、課税の重荷等から生ずる生産費の膨脹

諸外國の關稅障壁等を數へるが、これらはいづれも除去し得べきものであるが、それよりも如斯き原因の外に何か有力な障害はないか、基本工業の中で炭坑業は今日採算が次第に不利になつてきた、基本工業の位置を石炭と電力が奪ひかけてゐるが之とて當分は安心してよい。鋼鐵業は他の産業の復活に伴つて恢復しうる見込であるが、紡績業は他國の競争がある、英國の學者もこれに對して悲觀してゐるといふことだ。まだ、英國は強大ではあるピクともしない工業國ではあるが、然し英國産業の體系は今や移りつゝあるらしい。

○支那の製鐵業

支那の鐵鑛石一年の探掘量は大約百五十萬噸、主なる新式鑛山九ヶ所左の如し、

名稱	所有主	所在地	鑛種
象鼻山	湖北鑛務局	湖北大冶縣	赤鐵鑛
龍烟	龍烟鑛務局	直隸龍岡縣	同 休止
大冶	漢冶萍煤鐵公司	湖北大冶縣	同 (日本へ仕向)
常璽	寶興公司等	安徽太平縣	赤鐵鑛又磁鐵鑛
桃冲	裕繁公司	同 繁昌縣	赤鐵鑛
廟兒溝	本溪湖煤鐵公司	奉天、本溪湖	磁鐵鑛
弓長嶺	弓長嶺公司	同 遼陽	同
鞍山	振興公司	同 同	赤鐵鑛、磁鐵鑛
金嶺鎮		山東 同	同

支那の製鐵中心地は武漢方面にして漢陽に新式鐵廠あり、大冶には一日四百五十噸大型衝風爐二基漢口には一基の爐あり

すべて大冶の鐵を消費す奉天省には日支合辦の本溪湖製鐵廠日本經營の鞍山製鐵廠所あり現今支那純鐵全生産高の三分の二はこの二ヶ所より出づるものにして、北京の西約十六マイルの龍烟製鐵廠には一九二二年完成せし衝風爐一基あれども目下は使用せず、漢陽の製鐵所も豫期の成績を擧げざりし結果一九二二年閉鎖せらる。

上海江南機器局の對岸なる在浦東和興鋼鐵廠は毎月生産能力合計約千三百噸にして多數の電氣爐を有す。

鐵鑛石埋藏量に就て、支那地質調査所は約九億五千萬噸と算定し、内實在額を約四億トン、見込五億五千萬噸とせり、一九二六オリンアールクーンの算定によれば十三億噸、これ英國の埋藏量と同額にて、米國の埋藏量の四分一に當る、猶未調査の廣大なる蒙古、新疆、西藏、其他の分を加ふるときは尙一層激増する見込なり。

今太平洋西部沿岸諸國の埋藏量を示めせば左の如し(單位百萬噸)

支那	九五〇、	極東ロシヤ	五、	日本及朝鮮	八〇、
比律賓	二〇〇、	馬來半島及英屬ボルネオ	二五、	蘭領東印度	八〇〇、
合計	二、四〇五、	濠洲ニュージーランド	三四五、		

次に埋炭量を見るに國際地學協會の推定によれば支那の石炭は九百九十六億噸の多量を埋藏す、之を世界的に見るとき支那は埋炭量にて第一位、埋鐵鑛量にて第三位となる。故に政

局及經濟狀態が常態となれば支那の製鐵業の將來は多望なりとせざるべからず、而してこの支那の鐵と最も緊密の關係にあるものを日本とし、日本は過去二十年間支那鐵山の開發に盡力せしこと夥しく、現在採取鐵石の約五十%產出銑鐵の約六十%が殆ど日本に輸出され、知名の鐵山の殆ど九十%が日本人の經營の下に立てることは特に注目すべき現象なりとすべし。

○アルゼンチン國の統計 (一九二五年度)

總面積	三,九七〇,三三平方軒	密度	三,三人
總人口	九,八四八,八七〇人		
鐵道延長	五,八七五軒		
可耕地	八〇,〇〇〇,〇〇〇ヘクタール	耕地現在	三二,〇〇〇,〇〇〇
牧草地	二五,〇〇〇,〇〇〇	自然牧草地	一五,五五五,〇〇〇
山林	七,七四〇,〇〇〇	不生産地	二九,〇〇〇,〇〇〇
家畜		羊	一,二八〇,九二二
牛	一,四四八,六六八	馬	九,四三三,四三三
豚	一,四四八,六六八	驢	二八九,三三四
驢	六三三,四三三		
山羊	四,一九八,八三三		
農産輸出		亞麻	九,〇七五
小麥	二,九三三,四三三噸	燕麥	四三三,〇〇〇
玉蜀黍	二,九三三,四三三噸	牛	一,二八〇,九二二頭
大麥	九,三三三,四三三噸	羊毛	一,〇二二,六六六噸
肉	八三三,七七噸		

上表によりこの國には農地及牧草地が自然のまゝに残されて

あることゝ、牛と羊と小麥の三重要產出國であることゝを知ることが出来る。

○波斯の農業

波斯は其國土の大部分は、一年を通じて降雨量九吋乃至十三吋に過ぎない多少乾燥せる高原から形成せられてゐる、高度は平均三千呎乃至五千呎、從つて國內に於ける殆んど大部分の耕地は、乾燥せる高原中に介在してゐる故に僅少な給水を重んずることは絶對の必要で、古い時代の地下水道が至る所にある。^{カネイト} *Qanats* といふ水道で地方を横斷する。さうして一方には土地の表面に溝をつけて灌溉してゐる所もある。この方は「*Ergs*」ジュベスといふが、乾燥がきついで、餘程不經濟である。かうした設備もあるが貯水の方法といふものは別に考慮されてゐないので、國內の僅少な部分しか農地になり得ない狀況であつた。

しかもこの國は古代から大地主の國であるので大抵の農夫は小作である、小作は地主に年貢を出す、それは收穫の五分三の納入で、五分二が小作の所得であるから農夫は辛うじて最少限度の生活を営みうる程度である。大部分の地方では昔からの習慣で土地と水と作物種子とは地主の持で、作業資金と勞力とが小作の負擔である、灌溉を必要としない多くの土地では小作が種子を負擔する、又さうした農地も諸地方に存するけれども、國土の大部分は給水を缺いては其土地は殆ど無價値である。耕作可能の土地で給水の點で不毛の地となつてゐる面積が甚だ多い。地主階級とは僧侶、富豪、貴族で

ある、中には數州に跨つて廣大な土地を有してあるものがある。不毛の土地を開墾されば何人でも所有權を獲得しうるのであるが、費用がかかるので誰れもが之を爲し得ないとの事である。

從來波斯の農地では罌粟の栽培が盛で、その課税丈でも一九二三年度には一千二百萬クラン（一クランは邦貨二十錢）に上つた程であつたが、國際阿片會議の決定に基き、之を漸減することになつたから、之に代るべき棉花栽培を奨励せんとしてゐる。この國では海拔五千呎以内の地では至る所棉花がでゐる、露領トルキスタンでは *Barbadans* 種の米棉がつくられて好果を結んでゐるので、同じものが波斯裏海沿岸諸州で盛んにつくられるが、まだ小規模に止まつてゐる。波斯棉花は戰前露國へ向けて發送され重要輸出品であつた、即二十萬担からのものが輸出されたが現在ほろしやの購賣力が減じたので不振の狀にある。

波斯は國內の交通未だ發達せず、農業もまだ原始の域を脱しないけれども、いつ迄もこのまゝではあるまいと思はれる

○北氷洋航路

該航路は現に一七〇〇年代にノヴゴロドの商人によりて開始されたが、當時トボリスクの總督クラッキンは何故か之を嚴禁し、特に監視哨を設けて之が取締を爲さしめたために約二世紀の間全然杜絶したが、十九世紀になつてシベリアの開發に伴ひ、再び利用するものが現はれた、莫斯科商人が之に反對したけれども、陸上交通至難の地なれば

反對しても無効であつて、自然年々に進歩し遂には一九一三年には諾威よりエニセイ河の上流クラスノヤルスク市に向け貨物輸送に成功するに至つた。ソヴィエツト政府の時代になつて一九二〇年には北海航路委員會が組織され、調査研究の結果カラ海及エゴルスキーシャール海は一定期間船艇の自由航行可能なること判明し一九二一年よりカラ海に定期貿易が實施された。即シベリアではエニセイ河畔のクラスノヤルスク、オビ河畔のオムスクを基點として、河川船舶で前記諸河を下りエニセイ河ウスチエニセイスキー港及オビ河口のノローウイ港の沖合で航洋船舶と貨物を積替へ、カラ海峡又はエゴルスキーシャール海を経てムルマンスクに寄港し、スカンデナヴィヤ半島を迂迴して倫敦又は漢堡に向ふのである。鐵道輸送よりも遙に安價で利益が多い、目下の所輸出の畜產品木材等が少くて、却つて輸入が多いけれども、將來は西北利亞からの大量輸出の見込のあるものは、一般畜產品、木材石炭、小麥、魚類等である。

但し北氷洋航行期間は僅に八月下旬から九月上旬に渡る二ヶ月間であつて、風浪はげしき所であるから荷役設備が完全なるまでは困難が多いのであるから、目下河口に倉庫や其他の施設を施し無線電信を設けて天候を船に知らせるやうに企圖してゐる。

○人造絹糸世界產出額統計

一九二〇年

五〇、〇〇〇〇〇〇〇封度

一九二一年 六五、〇〇〇、〇〇〇
 一九二二年 八〇、〇〇〇、〇〇〇
 一九二三年 一〇〇、〇〇〇、〇〇〇
 一九二四年 一四〇、〇〇〇、〇〇〇
 一九二五年 一八〇、〇〇〇、〇〇〇
 一九二六年 二二〇、〇〇〇、〇〇〇
 一九二七年 二五五、〇〇〇、〇〇〇

かやうに最近の人造絹糸は世界的に驚くべき増加をしめした
 めに各方面に影響した、就中埃及棉花優良絹糸に大なる影
 響を與へんとしてゐる。天然絹糸たる我國人にも注目すべき
 形勢ではなからうか。

○島根地理學會主催夏期講習會

七月廿六日から五日間松山市島根縣師範學校に於て開催する
 ●講師及題目。南日本の地帶構造、理學士帷子二郎氏。地球
 の起原と發達、理學士下間忠夫氏。地理學上より見たる出雲
 の變遷、文學士松本博氏。地理教授の使命、臺中師範教諭三
 木英太郎氏。島根縣地誌概觀、島根女師教諭山本熊太郎氏
 ●野外踏査1.第四日午後宍道地講帶西部……宍道湖北岸・鏡
 川平野・杵築海岸の砂丘・大社町等
 2.第五日同東部……大根島の熔岩隧道・夜見濱・境・美保關等
 指導者前記講師及縣下中等學校教諭數氏
 ●申込七月十日迄、聽講料二圓詳細は同市師範學校へ問合す
 こと

質疑應答

質疑應答

【問】加奈陀產小麥の世界的地位を問ふ 大阪 I 生

【答】小麥の栽培地域及取引市場は殆ど世界的にして七十
 以上の諸國是を栽培し、且右諸國中の大多數は何れも過剰の
 分を輸出するか、又は國內需要に不足せる分を輸入するか
 の孰れかである。然し就中小麥の輸出國として主要なものは加
 奈陀、米國、亞爾然丁及オーストラリアであつて、英國及歐
 州諸國は是等諸國より輸出せらるゝ小麥の總量の八〇%以上
 を消化する世界第一の市場である。

加奈陀は小麥の輸出國中の第一位を占め、最近五ヶ年間に
 於ける小麥の毎年平均輸出量は國際市場に出づる世界總輸出
 量の約四〇%を算す、大戰前の一%に達せしに比して格段
 の進歩である。

北米合衆國は現今世界の小麦總輸出量の約二五%アルゼン
 チンは二〇%、オーストラリアは一〇%乃至一二%を供給す
 る、従つて小麥の國際市場の開拓は加奈陀に取つては他の何
 れの國よりも重要である。又加奈陀では總農作物より得る收
 入の三分一は小麥の販賣によるのだから、其増減は各階級人
 士の痛痒を感ずる所である。物價は生産少量の時に騰貴し多
 量の際には下落する、小麥はこの法則に従ふのであるが、小
 麥の市價を動かす原因としては、世界の小麦消費額は平均年